



地域格差と貧困を超えるオルタナティブスクール創出事業
持続可能な運営とステークホルダー全員のウェルビーイングの実現を目指して

公募説明会

本日はご参加ありがとうございます。開始までもうしばらくお待ちください。

- ・ **マイクはOFF、ビデオは可能な限りON** でご参加ください。（ランチ食べながら歓迎！）
- ・ 本説明会は記録のため録画させていただきます。事務局からの説明部分はオンライン上に公開する予定です。
- ・ 参加者の皆様は氏名@法人名に変更をお願いします。
- ・ ご質問はチャット欄へ投稿ください。本説明会では、個別の申請に関してのご相談は承っておりません。ご了承ください。

Agenda (本日の流れ)



- 01 **ご挨拶・法人概要 (5分)**
- 02 **休眠預金事業について (15分)**
- 03 **本事業の背景と助成概要 (15分)**
- 04 **皆さんと一緒に取り組みたいこと (20分)**
- 05 **申請・審査の流れ (15分)**
- 06 **質疑応答 (20分)**



プロジェクトサマリー

< 団体概要 >

NPO法人エデュケーションエーキューブは、すべての子どもたちが「自分らしく幸せに生きられる」社会の実現を目指し、福岡県内でオルタナティブスクール「スタディプレイス」を運営。寄付をベースとする奨学制度を提供し、経済的困窮家庭や地域格差に苦しむ子どもたちを支援

< プロジェクト概要 >

資金分配団体として、九州北部を中心に、フリースクール運営法人や新規開校を目指す個人に対して、当団体の運営ノウハウを活用した非資金的支援と休眠預金による資金支援を実施

< 事業の背景・課題 >

日本では不登校児童の増加と教育機会の格差が拡大、特に経済的困窮世帯では学校外での教育を選択する機会が限られている。既存のフリースクールは公的支援が少なく、運営の安定性が課題。休眠預金を活用し、学びの選択肢が少ない北部九州地域に持続可能な多様な学びの場を増やすことで、教育格差の解消を図ることを目指す

< 事業の実施体制 >

VCでの支援経験とNPO法人運営経験を持つ法人代表の草場がPOとしてプロジェクトを統括。業務支援は草場が担当し、組織基盤強化は経験豊富なスタッフが担います。また、地域ごとに協力団体と連携し、会計面は税理士法人がサポート。複数のプロフェッショナルが連携し、実行団体の持続可能な運営体制構築を支援

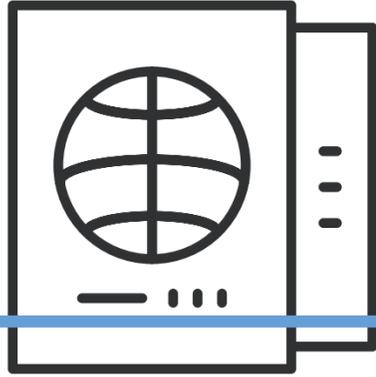
01



法人概要

法人概要

名称	認定NPO法人エデュケーションエーキューブ (Education A ³)
所在地	福岡県福岡市西区野方1-19-33
設立	2013年8月2日
代表理事	草場勇一
副代表理事	佐村礼二郎 (エーアイキャピタル株式会社 代表取締役CIO)
理事	伊藤尚毅 (アントキャピタルパートナーズ株式会社 マネジングパートナー) 安川由莉 (前スタディプレイス事業担当) 松永圭世 (プラットフォーム事業担当理事)
監事	伊藤雅浩 (シティライツ法律事務所 弁護士) 山本教貴 (山本公認会計士事務所)
事業内容	学校に通えない子どもたちのためのオルタナティブスクールの運営・支援
スタッフ数	12名 (ボランティアスタッフ含む)



- MISSION / VISION / VALUE -

ミッション・ビジョン・バリュー

- **Mission**
 - **子ども達が自分らしく幸せに生きていける社会に**
- **Vision**
 - **誰もが参加できる公正な教育の場を提供する**
- **Value**
 - **学校に代わりに通える「オルタナティブスクール」を展開する**

10年間の歩み



春日原校



風の里校



箱崎校



- 2022年 6月 NPO法人フリースクール風の里（福岡県行橋市）と業務提携、オンラインで風の里所属生徒の学習サポートを開始
- 2021年 4月 スタディプレイス オンラインコース始動
- 2020年 10月 スタディプレイス春日原校（福岡県大野城市）開校
- 2019年 4月 スタディプレイス箱崎校（福岡市東区）開校
2019/2020/2021 大和証券子ども応援基金
- 2017年 9月 スタディプレイス野方校（福岡市西区）開校／フリースクール事業開始
2017/2018 子供の未来応援基金
- 2016年 8月 福岡市より認定NPOの認定を受ける
- 2015年～2019年 福岡市子どもの学びと居場所づくり事業（福岡市）受託
- 2014年 4月 スタディプレイス伊都校（福岡市西区）開校
- 2013年 8月 NPO法人格取得、学習支援事業開始
- 2013年 4月 エデュケーションエーキューブ活動開始

よく出てくる言葉について



**応募をし採択されて
活動を行う団体**

**テーマを設けて実行団体を
公募/助成する団体**

**休眠預金等活用法に則り
資金的支援等を行う**

02



休眠預金事業について

03



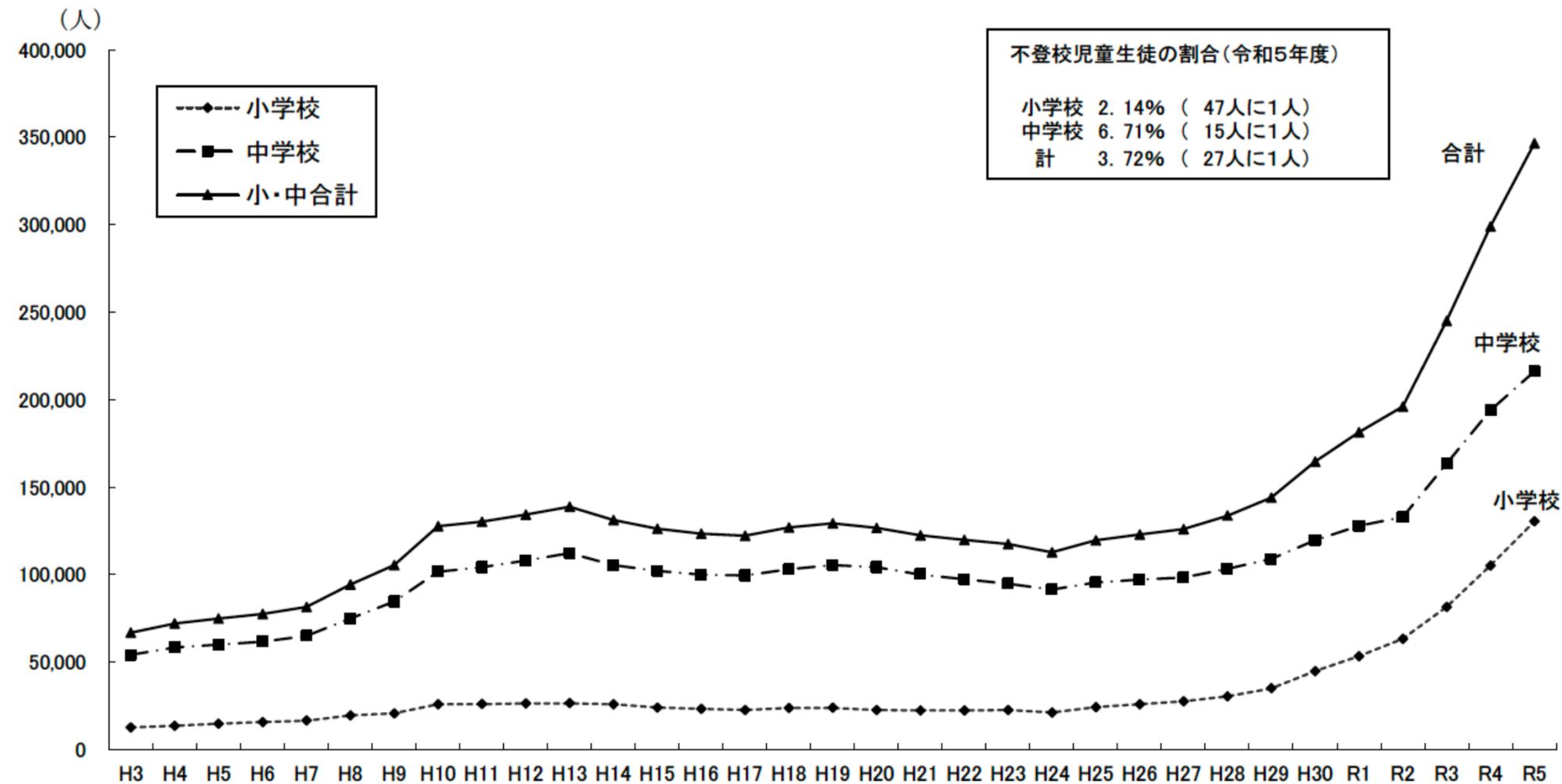
本事業の背景と助成概要

学校に通えない子ども達

全国

小・中学校の不登校児童(30日以上欠席)は、34.6万人(前年度から47,434人、15.9%増)
内、約55%の19.0万人が90日以上長期欠席であり義務教育の機会を失っている状況

<参考2> 不登校児童生徒数の推移グラフ

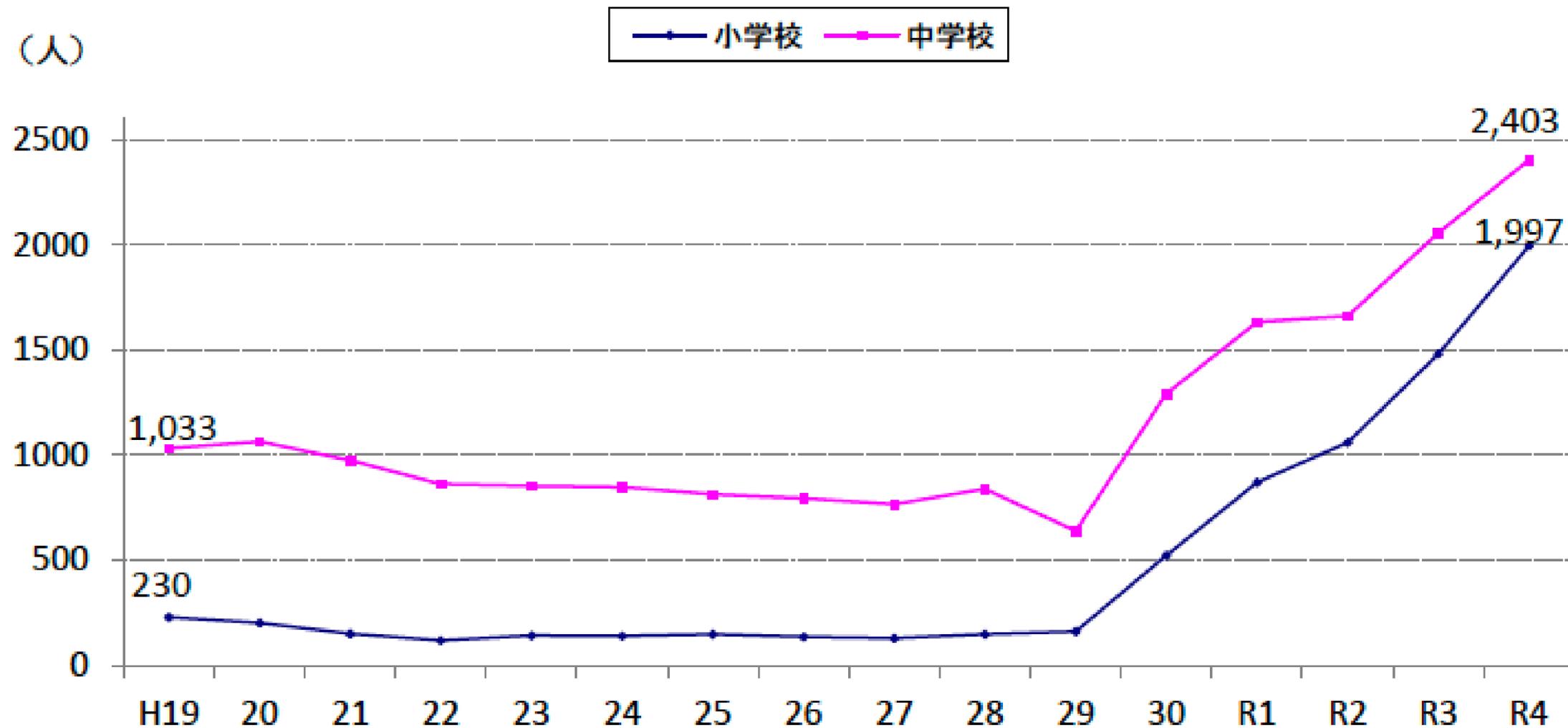


出典：文科省令和5年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査

孤立する子ども達

福岡市

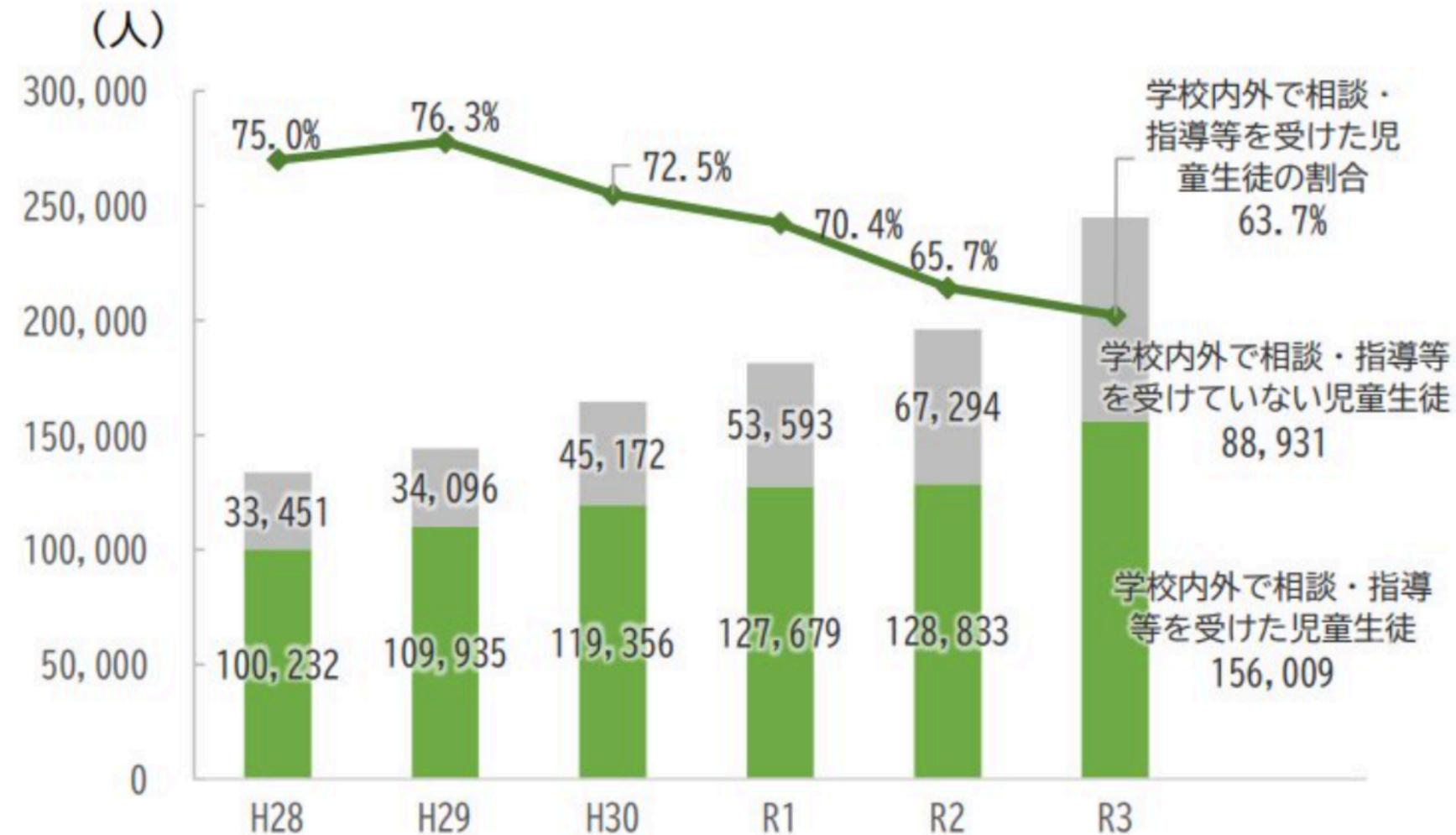
福岡市の小・中学校の不登校児童(30日以上欠席)も増加傾向にあり
5,184人(前年比18%増)内、民間施設の出席扱いは186人のみ



孤立する不登校の保護者と子ども

不登校の子どものうち、**36.3%が学校内外で何らの相談・指導等(=支援)を受けていない**

不登校児童生徒が学校内外で相談・指導等を受けた状況



(図8) 令和3年度 文部科学省「児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査「不登校児童生徒が学校内外で相談・指導等を受けた状況」

オルタナティブスクール・フリースクールの費用

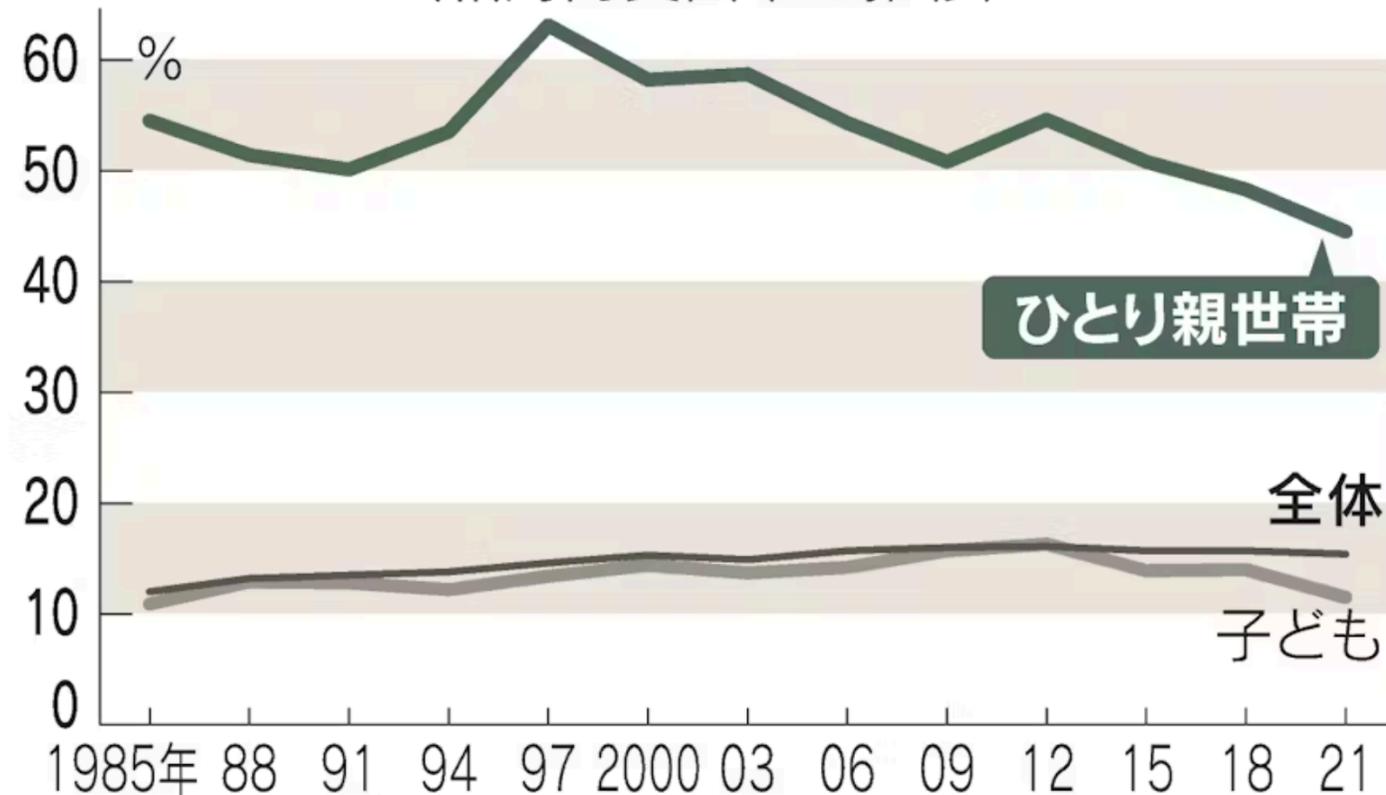
2015年のフリースクールの月額利用料33,000円だが、当法人が調査した福岡県の
オルタナティブスクール・フリースクールの費用月額54,104円

		入会金	施設費（年）	月謝（月）	年間費用	月平均費用	備考
1	糸島市AS。「くらし」と「あそび」と「学び」をつなぐ	82,500	0	38,000	538,500	44,875	入校体験費用別途発生
2	福岡市FS。元教員が運営	55,000	0	44,000	583,000	48,583	教材費・移動費・行事及び体験活動費は別途
3	福岡市FS。遊び中心	60,000	0	60,726	788,712	65,726	週5、入校時年額支払い
4	福岡市AS。シュタイナー教育（芸術重視）	250,000	0	58,000	946,000	78,833	週5
5	福岡市FS。老舗FS。教員ボランティア	0	110,000	38,500	572,000	47,667	週5
6	糟屋郡AS。自然の中での遊びから学ぶ	38,500	20,800	42,500	569,300	47,442	週4、含む給食費
7	筑紫野市FS。アート、畑作業などの活動	20,000	10,000	43,100	547,200	45,600	週5、体験有料
					平均費用	54,104	

相対的貧困とひとり親世帯の貧困率

**相対的貧困率は15.4%、子どもの相対的貧困率は11.5%。
一方で、子どもがいる世帯で大人が一人だけの場合は44.5%**

ひとり親世帯は経済的に苦しい傾向
(相対的貧困率の推移)



(注) 18年以降は作成基準が異なる。「ひとり親」は大人が一人で子どもがいる現役世帯。出所は厚労省

九州エリアの不登校児童とフリースクール数

九州エリアの不登校児童の内、90日以上長期欠席児童数は18,558人
フリースクールなどの約60%は、福岡に集中

九州各県における不登校児童生徒数およびフリースクール数

	不登校児童生徒数 (30日以上欠席)	不登校児童生徒数 (うち、90日以上欠席)	フリースクール等 スクール数	構成比
福岡県	15,231	7,628	75	58.6%
佐賀県	2,010	1,180	7	5.5%
長崎県	3,081	1,677	6	4.7%
熊本県	5,353	2,778	17	13.3%
大分県	2,703	1,537	14	10.9%
宮崎県	2,399	1,531	2	1.6%
鹿児島県	3,821	2,227	7	5.5%
計	34,598	18,558	128	100.0%

出所：令和4年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査(文部科学省・2022年度調査)、フリースクール数は当法人調べ(2024年度調査)

フリースクールの運営実態

**フリースクールの持続可能な運営は厳しく、
運営者・スタッフのウェルビーイングが実現できているとは言えない状況**

約75%がNPO・個人などの運営

NPO法人	42.6%
個人（夫妻・家族も含む）	19.1%
有限会社・株式会社等の法人	16.4%
学校法人	7.1%
親の会など、数人の任意団体	3.8%
福祉法人・医療法人等の公益法人	2.2%
その他	8.8%

図 1-2 団体の運営主体(n=183)

約73%が財政規模1000万円以下

250万円以下	28.3%
500万円以下	15.8%
1000万円以下	29.2%
2000万円以下	18.3%
2000万円以上	8.3%

図 1-7 フリースクールの財政規模(n=120)

約65%が月給20万円以下

10万円以下	10.6%
10万1円以上15万円	17.6%
15万1円から20万円	36.5%
20万1円から25万円	20.0%
25万1円以上	15.3%

図 4-4 月給の額(n=85)

助成概要

そもそも助成とは？

**問題解決の外部化の1つの手段として、
自分達でない外部の団体に解決を依頼すること**

- ・ **そもそも資金を提供する側よりも、資金提供をされる側が優れている**
- ・ **助成先に対する敬意や正当な評価抜きには成立しえない**
- ・ **資金分配団体と実行団体は共通のゴール達成の為にイコールパートナー**

応募資格・対象団体

応募資格

- ✓ 申請事業に関する実績と意欲を持つこと
- ✓ 説明責任と情報公開を徹底する意思があること
- ※助成事業最終年度に助成予算の2割以上の自己資金の確保が必要

対象団体

北部九州地域*において、持続可能な学校の代わりとなる学びや体験の環境を構築し、子どもたちの多様な学びを支えたいという強い思いを持つ団体

すでに取り組んでいる団体はもちろん、今後取り組もうとする団体や取り組みへの意欲を持つ個人も含みます

*福岡地区を除く福岡県、佐賀県、長崎県、大分県

期待する活動概要

期待する 活動概要

以下のような活動を通じて「学校の代わりとなる学びの場」の選択肢を地域に根付かせ、学校に通えない子どもたちが安心して学べる環境の構築を図ること

・学校に通えない子どもが通えるフリースクールやオルタナティブスクールの運営

・多様な子どものニーズに応じたカリキュラムや体験活動の導入・改善

・子どもたちが安心して過ごせる日常的な支援体制の整備による、子どもの心身の健康の回復やウェルビーイングの向上

・情報発信や地域との継続的な対話を通じた「多様な学びを認める社会」の実現に向けた理解の向上

助成について

助成額

1団体あたり総額 1,000～1,200万円程度(年間:350万円程度)

採択予定団体数

3団体

助成契約の形態

複数年における助成契約(年度ごとの助成額の見直しあり)

助成金使途

持続可能な「学校の代わりとなる学びの場」の新設・拡充のための初期投資及び黒字化までの運転資金

※土地の購入は対象外、助成対象は原則賃貸のみ

※事業期間中に実際に支払われた金額のみ対象

助成期間

2028年2月末を期限とする最長2年6ヵ月

04

皆さんと一緒に取り組みたいこと



オルタナティブスクールの定義

**公教育に代わるもう一つの学びの選択肢として
子ども一人ひとりの興味や成長段階に合わせた**

柔軟なカリキュラムを提供

主体的な学びを支える環境

皆さんと一緒に取り組みたいこと

長期のゴール（アウトカム）：事業終了後の5年後（2033年）

日本において、学校以外の選択肢を選ぶことが特別ではなくなり、学校と遜色のない質の高い学びが提供される中で、子どもたちがウェルビーイングを意識して選択・行動できるようになっている。

皆さんと一緒に取り組みたいこと

中期ゴール（アウトカム）：事業終了後2年後（2030年）

- 1. 持続可能なオルタナティブスクールの増加**
- 2. 質の高い学びの提供による教育価値の実現**
- 3. 子ども達・スタッフのウェルビーイング意識の向上**
- 4. 多様な学びを認める地域社会の醸成**
- 5. 中長期のゴール実現のための組織基盤強化**

①持続可能なオルタナティブスクールの増加

九州北部地域において、持続可能な運営体制を確立したオルタナティブスクールが増加、学校に通えない子どもたちとその保護者が、安心して通える学びの場を得られるようになってきている。

- ・ 既存校の強化及び新規開校により、受け入れる子どもの数の増加
- ・ 助成期間終了後も事業が持続可能となるような事業計画を検討すること
- ・ 働くスタッフのウェルビーイングを高め、安定したスクール運営の実現
- ・ お互いに学び合う実務的な九州のオルタナティブスクールのネットワーク構築

②質の高い学びの提供による新たな教育価値の実現

各スクールが、基礎学力に加えて、探究的な学びや新しい時代に必要なスキル等を身につけられる多様なカリキュラムを提供しており、学校の代わりとなる教育機関としての信頼性を高めている。

- ・従来の学校に代わる新しい学びの選択肢を構築するという視点を持ち、地域性を活かしながら、独自性や先駆的な取り組み（探究学習や体験型学習など）
- ・従来型の学習方法にとらわれず、子どもたちが楽しく主体的に学ぶ環境づくり
- ・地域の教育委員会や学校から多様なカリキュラムが評価され、通っている生徒が所属校の出席認定を受けている

③子どもたちのウェルビーイング意識の向上

子どもたちが安心して過ごせる学びの場で心身・生活が安定し、自らのウェルビーイングを意識しながら学び続けられるようになっている。

やってみよう！

自分を信じてチャレンジできる

ありがとう！

自分と他の人を大切にし、他者を思いやったり感謝ができる

なんとかなる！

不安や失敗を乗り越え、自分ができる！と行動できる

ありのまま！

他人と比較をせずに、自分らしくいることができる

④多様な学びを認める地域社会の醸成

オルタナティブスクール等の存在・意義についての広報・啓発活動により、地域社会で「多様な学びを認める」認識が広がり、「学校以外の学び」への理解・受容・支援が進んでいる。

- ・ スクールの活動について、ホームページ・メディア掲載・SNS発信を積極的に行うこと**
- ・ オルタナティブスクールなど認知度調査（ネット調査、保護者・地域調査）を実施し、認知度の広がりを把握する**
- ・ 行政からの家庭支援や施設支援など公的支援の拡大に取り組むため、行政・教育委員会などステークホルダーと良好な関係を築く**

⑤ 中長期のアウトカム実現のための組織基盤強化

事業終了後も実行団体が地域性や独自性を保ちながら持続可能な活動を続けることができる体制づくり

- ・ **自団体の理念を明確化。中長期の計画を立て収支バランスを意識した経営**
- ・ **多様な資金源を活用しながら、自主的・継続的な資金調達の実施**
- ・ **スタッフのスキル・マインド強化による安定したスクール運営**
- ・ **透明性と信頼性のあるガバナンス体制の確立**

資金分配団体としての伴走支援

自主事業での7年間の運営実績に基づいた豊富な伴走支援メニューを整備。
実行団体の課題を解決しながら、独自性・地域性を活かした持続可能な運営体制をサポート

<ノウハウのサポート>

- 理念・行動規範作成
- 運営マニュアル作成
- ICT・AIを活用した学習
- 共同カリキュラム実施
- 過去講演アーカイブ提供
- 生徒管理データベース
- 学校との連携
- 広報活動

<資金のサポート>

- 休眠預金での初期投資及び
運転資金提供
- 投資・購入の検証
- 助成金／融資申請
- クラウドファンディングの
成功事例共有
- 授業料価格設定への助言
- 奨学制度の共同寄付募集

<ヒトのサポート>

- 新規スタッフ研修
- 共同スタッフ研修
- スタッフ評価シートの提
供と活用方法
- 税理士・弁護士紹介
- 地域コミュニティ・企業
との関係構築支援
- Slackによる個別相談

事業運営体制について（プログラムオフィサー）

実務経験のあるメンバーが実行団体の業務支援及び基盤強化を担当



事業支援担当
草場勇一

- ・ 前職はベンチャーキャピタル業界において20年間、ベンチャー企業への投資業務及び経営支援に携わる。
- ・ 母子家庭で育ち奨学金を利用し大学を卒業した経験から、教育格差の是正に取り組むため、2013年に法人設立
- ・ NPO法人子どもアドボカシー福岡 監事



基盤強化担当
松永圭世

- ・ NPO法人エデュケーションエーキューブ 理事
- ・ エデュケーションエーキューブ初代インターン生
- ・ 2017年 IT関連の上場企業へ入社
- ・ 経営企画部で子会社の事業計画進捗担当後、現在は大学生のキャリア支援を担当



基盤強化担当
山田香織

- ・ NPO法人エデュケーションエーキューブ 管理部門リーダー
- ・ 前職の地域振興団体のスタートアップでバックオフィス業務全般を経験後、入職
- ・ 2024年 ETIC. NPOマネージャー成長支援プログラム受講

事業運営体制について（協力団体）

各地域で実行団体を支援する協力団体や会計のプロフェッショナルを配置し、
地域特有の実行団体の課題解決をPOと共同でサポート



内海博文（長崎担当）

- ・ NPO法人school（スクール）代表理事
- ・ 長崎県大村市でフリースクール運営
- ・ 約12年間、塾・予備校講師として勤務。中高生・高卒認定試験受験生・予備校生・通信制高校在学生の学習支援に携わる



津田憲吾（大分担当）

- ・ 「marble」プロジェクトリーダー
- ・ 大分県大分市で発達障害専門学習塾「複合スペースmarble」運営
- ・ こどもデイサービス夢色(放課後等デイサービス) 管理者兼児童発達支援管理責任者
- ・ 作業療法士



山下千春（佐賀担当）

- ・ オヤモコモ（(株) 代表取締役
- ・ 佐賀県佐賀市で妊娠、出産、育児に関わる女性支援
- ・ 元SAGA 理想のオルタナティブ教育を考える会 代表
- ・ 不登校当事者の保護者
- ・ 実行団体として産後うつの活動を展開



玉井英樹（会計担当）

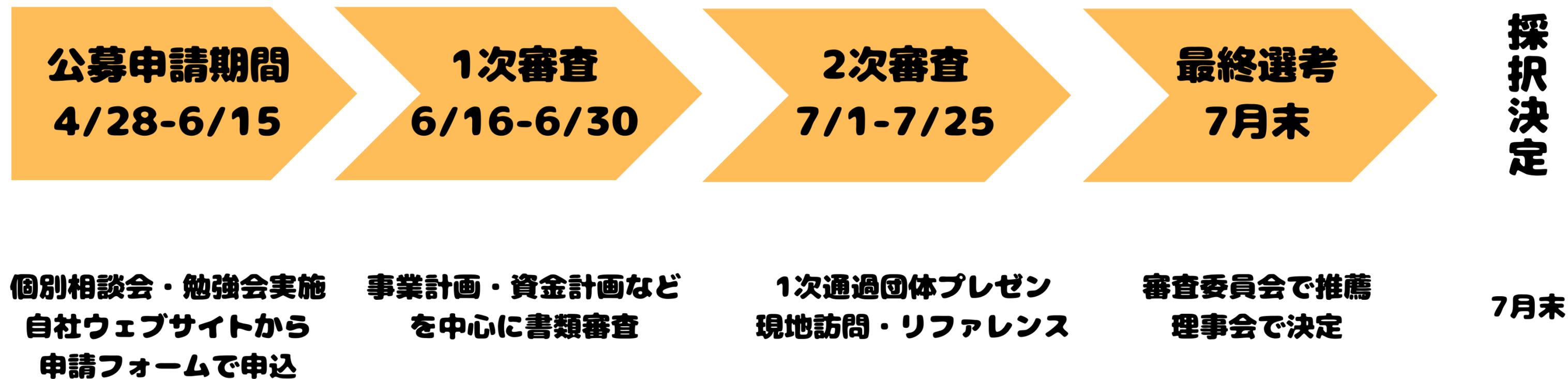
- ・ POT税理士法人 代表社員
- ・ 福岡県福岡市でPOT税理士法人
- ・ 社員数14名（税理士資格7名）
- ・ 学校で税金の授業を担当
- ・ 3年後に夫婦でオルタナティブスクール創業を検討中

05



審査の流れ

申請・審査の流れ



※スケジュールや審査内容については予告なく変更となる場合がございます。

申請・審査の流れ



1. 公募申請受付期間：2025年4月28日(月)~6月15日(日)午後23時
2. 1次審査：2025年6月16日(月)~6月30日(日)午後23時
3. 審査の概要：公募要領に記載の審査観点に沿って、提出情報をもとに書類審査を行います。
4. 申請の方法：事業ウェブサイト内の「申請前登録フォーム」より、申請者情報を登録してください。それにより届いたメールの案内に従って「本申請フォーム」に回答いただくとともに、提出書類を指定のメールアドレスへ送付してください。
5. ・提出書類：提出書類の詳細は公募要領よりご確認ください。フォーム回答に加えて、必要書類のご提出をもって申請が完了となります。

申請・審査の流れ



1. 実施期間 2024年7月初旬~2024年7月下旬予定
2. 審査の概要：一次審査を通過された方は、二次審査に進んでいただきます。面談(現地訪問・オンラインで1~2回を予定)および審査委員へのプレゼンを実施させていただきます。
3. リファレンス（関係者へのヒアリング）を実施させて頂くのでご協力をお願いします。

申請・審査の流れ



- 1.実施期間：2024年7月下旬予定
- 2.審査の概要：諮問委員会での協議の上、理事会に推薦を頂き、内定団体を確定いたします。確定後、メールにて審査結果のお知らせをいたします。
- 3.内定後：内定団体様には、内定通知後にオリエンテーションの実施を予定しております。8月中旬に契約締結、9月助成開始を予定しています。

最後に

- ・ **資金は必要だが資金だけでは解決できない**
- ・ **事業運営経験に基づく実践的なサポート体制を構築**
- ・ **代表とチームの成果達成への当事者意識と覚悟**

私たちは実行団体の皆さまとイコールパートナーとして、地域特性を活かした独自の学びの場づくりを目指します。このプロジェクトは、各地の状況に合わせた運営体制とカリキュラムを皆さまと共に創造し、持続可能な学びの場を広げる今回のプロジェクトに、ぜひご参加ください。

アンケートにご協力ください

<https://forms.gle/JCmxFgWskJkTmDun8>